

松リハだより

松山リハビリテーション病院

2015
17号

発行日
平成27年5月

発行者：医療法人財団 慈強会 松山リハビリテーション病院 TEL089-975-7431 FAX089-975-1670 <http://www.jikyokai.or.jp>

新入職員とともに確かな歩みを

松山リハビリテーション病院
院長 木戸保秀

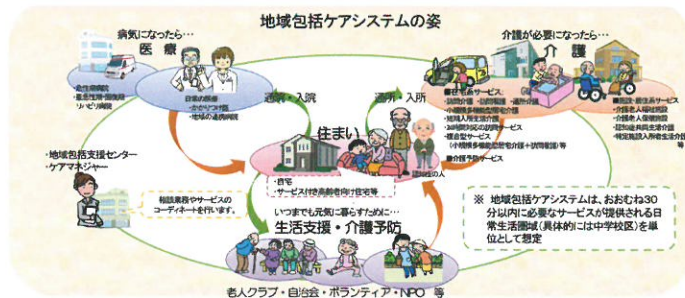


季節の移り変わりは早いもので、夏がもうすぐそこに来ております。さて、今年度当院は新たに24名の新卒の入職者を迎えることができました。この24名が様々な経験を積み、働き盛りである30代となるころ、いよいよ我々は2025年を迎えます。

ご承知の通り、2025年は団塊の世代が後期高齢者となり、医療、介護、福祉等の給付と負担が大きく変化し、社会福祉財政の運営に様々な問題が生じると予想されており、我々にとっては大きなターニングポイントの年とされています。厚生労働省の調査によると、「介護を受けながらも自宅で暮らしたい」と望む高齢者は7割を占めており、今後は2025年を見据えた国の主要施策である“地域包括ケアシステム”を軸とした在宅介護が推進される方向性にあります。しかし、その進捗度は地域によってばらつきが大きいのが現状です。

医療法人財団慈強会では「松山リハビリテーション病院」の他に「介護老人保健施設高井の里」「東松山在宅ケアセンター」「松山市地域包括支援センター 小野・久米地区(松山市委託事業)」を運営しており、また、関連施設として社会福祉法人慈光会が運営する「ていれぎ荘」「味酒野ていれぎ荘」と連携しています。この各事業体が相互補完体制を構築することで、一人の患者様を在宅～入院～退院～在宅の各場面において必要とされる支援を提供することが可能な体制となっています。しかし、これらだけでは当然のことながら限界がありますので、他の医療機関、他施設、地域との連携がますます重要となっています。当院も“地域包括ケアシステム”の構築という大きな流れの中で、法人としての体制整備を進めて参りますので、引き続きのご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しくお願い致します。

病院から在宅まで全ての場面に関わることができるのが当院の強みです。冒頭の24名には、患者様や先輩職員から多くの事を学びながら確かな歩みを進めて、当院を支える人材となってくれることを大いに期待しております。



※厚生労働省ホームページより抜粋

平成27年度 新入職員紹介



24名の新卒者を含む4月入職の職員は、各部署に関しての役割や待遇などの様々な研修を受けた後、それぞれの部署に配属となりました。一日も早く患者様を支えるスタッフの一員になるよう努力いたしますので、どうぞよろしくお祈りします。



Q.新入職員の皆さんに質問です！

①趣味・特技は？ ②意気込みを一言！

■リハビリテーション部 11名

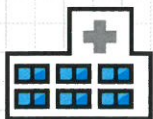
PT	あり た ゆう いち ろう 有田 悠一郎	①サッカー、サーフィン ②一日でも早く松リハのセラピストとして戦力になれるように頑張ります
	かた ざり とみ み 片桐 知美	①スポーツ ②精一杯頑張ります。よろしくお祈りします
	さとう ゆみ 佐藤 友美	①バレーボール ②日々成長できるように頑張ります
	たきの ゆう すけ 滝野 佑介	①フットサル ②信頼されるPTになるよう努力し続ける
	なか み さとし 中見 聡志	①サッカー ②何事も全力で取り組みたいと思います
OT	たか はし ゆき のり 高橋 幸規	①音楽鑑賞 ②患者様の生活を第一に考えつつ精進する
	たけうち ふろ こ 竹内 楓子	①バレーボールのレシーブ、お菓子作り ②患者様の立場にたって考えられる作業療法士になります！
	なか もり まさ ゆき 中森 真之	①スポーツ観戦、釣り、ツーリング ②患者様がその人らしい生活に戻るお手伝いをします
	に たん だ な お 二反田 奈央	①バドミントン、長距離走 ②いつも患者様の気持ちに寄り添って一緒に考えることのできる笑顔で明るい作業療法士になります
	ひろ せ やす ひろ 廣瀬 靖大	①ウォーキング ②成功の秘訣は、成功するまで続けること
ST	こう の み か 河野 美香	①美術館巡り、相撲観戦 ②明るく元気に頑張ります！

■看護部 12名

看護師	おお た なる み 太田 成美	①読書、音楽、LIVEにもよく行きます ②精一杯頑張るので、よろしくお祈りします
	おき その か 沖 苑加	①バスケットボール ②患者様に寄り添い、思いやりのある看護師になりたいです
	く ぼ かえで 久保 楓	①スポーツ ②患者様のために看護を極めます！
	つか の ほたる 塚野 蛍	①吹奏楽(ホルン) ②毎日、笑顔で頑張るぞ！
	とよ た ひろむ 豊田 啓	①紅茶 ②一歩の偉大さを忘れずに！
	はま だ あや 浜田 采	①音楽、トランペット ②「笑顔」を大切に頑張ります！
介護福祉士	いけ だ 池田あすか	①LIVEに行くこと ②努力
	い どう あり さ 伊藤 有紗	①ドライブ(海などへ) ②常に笑顔忘れず、誰にでも信頼される職員になりたいと思います！
	した やなぎ まい 下柳 舞	①バスケットボール ②一生懸命がんばります！
	ちよう そ か べしゆん 長曽我部潤	①スポーツ観戦、音楽鑑賞 ②不安でいっぱいですが、素直に一生懸命頑張ります
	はた の えり 端野 江里	①音楽鑑賞、漫画 ②患者様に信頼される介護福祉士になれるよう頑張ります
介護員	やま おか ゆき か 山岡結希花	①おり紙、時代劇 ②患者様の笑顔を大切に頑張ります！

■薬剤部 1名

薬剤師	たか た さ や か 高田 沙也加	①DVD鑑賞、旅行 ②信頼して頂ける薬剤師になれるように頑張ります
-----	----------------------	-----------------------------------



医療安全情報

4月から“ヒヤリ・ハット(レベル0)報告書”の件数を増やす取り組みが始まりました。レベル0とはどのような患者影響レベルなのか……。それは、実際事故にもなっていない、患者様に影響がないレベルのもので、

この“ヒヤリ・ハット(レベル0)報告書”を「提出しましょう」「件数を増やしましょう」と働きかけている理由は、ただ報告件数を増やしたいからではなく、レベル0に気付くことができるような職員のリスク感性の向上に結び

つけたいからです。従来、重大事故発生の際には軽微な事故が、そして事故未済のインシデントも数多く潜んでいるといわれています。それらの軽微なインシデントには多くの事故の芽がふくまれており、それらを分析することで重大事故の回避につながる手掛かりを得ることができます。

レベル0の事例は、患者様に影響が及ばなかった状況であり、医療事故発生を未然に食い止められた場面です。どのような医療事故が発生したのかという予想が可能であり、患者様に影響を及ぼさずに直前で食い止めた事例を通して、次回に役立つ再発予防策が含まれていると思います。

このようにレベル0の報告を通して「医療事故防止につながった行動」を職員が認識することが大切であり、医療を提供する環境に潜む「不安全行動」を削減することで「不安全状態」の改善につながる意義のあることと考えています。

職員である私達だからこそ、気付くことが間違いなくたくさんあると思います。これからも職員の気付きを大切にしていきたいと思います。

(医療安全管理者 梅原)

ヒヤリ・ハット(レベル0)報告レポート(看護部)

報告者	年月日	時間	場所	内容	
<input type="checkbox"/> 新卒者 <input type="checkbox"/> 看護部 <input type="checkbox"/> 薬剤部 <input type="checkbox"/> 検査部 <input type="checkbox"/> 放射線部 <input type="checkbox"/> 栄養管理部 <input type="checkbox"/> リハビリテーション部 <input type="checkbox"/> 医療社会福祉部 <input type="checkbox"/> 食薬部 <input type="checkbox"/> 連携会社 <input type="checkbox"/> 事務部(医事課、看護管理課等)	<input type="checkbox"/> 6ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 3年以上 <input type="checkbox"/> 1ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 6ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 6ヶ月以上	<input type="checkbox"/> AM <input type="checkbox"/> PM	<input type="checkbox"/> 病室 <input type="checkbox"/> ロビー・待合室 <input type="checkbox"/> 検査室 <input type="checkbox"/> 病室 <input type="checkbox"/> ベッドサイド <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> メタップステーション内 <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 0~3時 <input type="checkbox"/> 3~6時 <input type="checkbox"/> 6~7時 <input type="checkbox"/> 7~8時 <input type="checkbox"/> 8~10時 <input type="checkbox"/> 10~12時 <input type="checkbox"/> 12~14時 <input type="checkbox"/> 14~16時 <input type="checkbox"/> 16~18時 <input type="checkbox"/> 18~19時 <input type="checkbox"/> 19~20時 <input type="checkbox"/> 20~24時	<input type="checkbox"/> 転倒・転落 <input type="checkbox"/> 歩行中 <input type="checkbox"/> 移乗動作時 <input type="checkbox"/> トイレ移動時 <input type="checkbox"/> 車椅子上り <input type="checkbox"/> ベッドより <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 薬間違 (内服薬・注射・点滴・外用薬・その他) <input type="checkbox"/> 患者間違い <input type="checkbox"/> 薬間違い <input type="checkbox"/> 薬間違い <input type="checkbox"/> 薬間違い <input type="checkbox"/> 薬間違い <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> チューブ関連 <input type="checkbox"/> 検査 <input type="checkbox"/> 搬送・搬送 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 打撲・外傷 <input type="checkbox"/> その他()

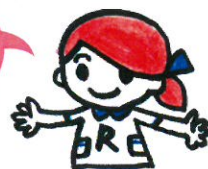
レベル0を見つけた時の状況を教えてください

何故気が付いたか、気が付いた時のあなたの行動を教えてください

※必要に応じて、追加項目も可とする。
大きな事故になる前に気づいてくれてありがとうございます。
松山リハビリテーション病院
医療安全管理委員会

『第25回研究大会 in愛媛に参加して』

回復期
リハビリ
No.6



現在、当院には回復期認定看護師が5名います。私は第6期生で平成14年1月に認定を受け活動を開始しました。院内での主な活動は、回復期リハビリテーション看護の研修、新人研修、所属病棟で患者様の在宅復帰に向けたスタッフからの相談に対するアドバイスです。院外での活動は、看護学校での臨時講師や研究大会への参加などです。認定看護師は5年毎の更新が必要で、更新のための条件は協会が指定する活動を行い、5年間で合計50ポイントを取得し更新申請を行わなければなりません。今年2月にポイント対象の研究大会がありました。今回の研究大会は地元の松山市で開催されたので、私も含めた当院の回復期リハビリテーション認定看護師全員が参加しました。研究大会では、2年前に東京で一緒に学んだ6期生も沢山参加しており、研究大会後にはお互いの近況報告や仕事での悩みを相談することができ、良い刺激をもらいました。

日常の業務に追われていると、いつの間にか回復期リハマインドが薄れたり、回復期リハビリテーション看護としてこの考え方で間違っていないのだろうかと思ったり悩む事があります。今回の研究大会はそんな薄れかけたリハマインドや悩みを吹き飛ばしてくれた大会だったように思います。今後も出来る限りこのような研究大会に参加し、最新の回復期リハビリテーション看護を学び、現場にフィードバックしていきたいと思ひます。

(回復期リハビリテーション認定看護師 本多)

関連施設の紹介 松山市地域包括支援センター 小野・久米地区

こんにちは!! 松山市地域包括支援センター小野・久米地区です。

私たちは地域に住む高齢者に関するさまざまな相談を受け止め適切な機関・制度・サービスに繋ぎ継続的にフォローをする身近な相談窓口です。介護保険法に位置づけられ、松山市から委託を受け活動をしています。

みなさんの地域生活をより豊かにするために主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士・ケアマネジャーなど総勢10人がお手伝いします!!

■活動内容

総合相談受付	高齢者に関する相談を電話、来所、訪問にて受け付けます
権利擁護に関する対応	自己決定に基づく契約等が十分にできない人の権利を守ります
包括的継続的ケアマネジメント	高齢者を支えるキーになるケアマネジャーがいろんな人や機関とうまく連携をとっていけるような環境を作ります
介護予防ケアマネジメント	介護予防に関する相談や地域での教室の開催、啓発をします
指定介護予防支援事業	介護保険における要支援1・2の方へのケアマネジメントをおこないます



事務所は、松山リハビリテーション病院の向かい(西側)にあります。



地区のスーパーでの出張総合相談



会場を借りての地域交流会



定期的に行っている介護予防教室



医療法人財団 慈強会 松山リハビリテーション病院

(財)日本医療機能評価機構認定病院
〒791-1111 松山市高井町1211番地
TEL.089-975-7431 FAX.089-975-1670
ホームページアドレス <http://www.jikyokai.or.jp>
許可病床 326床・6病棟(回復期病棟160床・一般病棟116床・療養病棟50床)
日本リハビリテーション医学会研修施設

●交通のご案内 伊予鉄久米駅より伊予鉄ループバス約15分 タクシー約7分

●関連施設紹介

介護老人保健施設 高井の里
TEL.089-975-7761 FAX.089-976-5779

東松山在宅ケアセンター
東松山訪問看護ステーション TEL.089-975-7425
東松山居宅介護支援事業所 TEL.089-975-6158
東松山訪問介護事業所 TEL.089-970-1238

社会福祉法人 慈光会 介護老人福祉施設 ていれぎ荘
TEL.089-975-5558 FAX.089-975-9300

味酒野 ていれぎ荘
TEL.089-989-5571 FAX.089-989-5572

〈松山委託事業〉松山市地域包括支援センター 小野・久米地区
TEL.089-970-3761 FAX.089-975-7620